

がんばれ！東京ヴェルディ！

稲城市議会は、当市をホームタウンとしている東京ヴェルディを応援しています。



令和6年 第2回定例会

もくじ(P1)

- P2 委員会で詳しく審査
小学生議会傍聴
- P3 一部事務組合議会の活動
令和5年度政務活動費
- P4 一般質問(19人)
- P7 正副議長公務日誌
- P8 議案審議結果
議員22人に聞きました

議会日誌

5日	5月	4月	6日
本会議 一般質問	31日 本会議 行政報告議案説明	23日 総務委員会	6日 本会議
4日	24日	18日	7日
本会議 議案(補正予算・即決除く)質疑、付託、議案(補正予算)質疑、補正予算特別委員会設置、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、陳情付託	本会議 第2回定例会	建設環境委員会 議会運営委員会	本会議 議会運営委員会
3日	22日	16日	10日
本会議 議案(補正予算・即決除く)質疑、付託、議案(補正予算)質疑、補正予算特別委員会設置、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、陳情付託	代表者会議 議会運営委員会	建設環境委員会 議会運営委員会	本会議 一般質問
2日	21日	11日	11日
本会議 議案(補正予算・即決除く)質疑、付託、議案(補正予算)質疑、補正予算特別委員会設置、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、陳情付託	本会議 第2回定例会	福祉文教委員会 特別委員会	補正予算
1日	20日	10日	12日
本会議 議案(補正予算・即決除く)質疑、付託、議案(補正予算)質疑、補正予算特別委員会設置、付託、議案(即決)質疑、討論、採決、陳情付託	本会議 行政報告議案説明	本会議 一般質問	総務委員会 福祉文教委員会 建設環境委員会 議会運営委員会

委員会で詳しく審査しました



～令和6年第2回定例会中に審査した内容は下記のとおりです～

総務委員会

議案1件を審査しました。
稲城市職員の公益的法人への派遣に関する条例の一部を改正する条例は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。

福祉文教委員会

陳情1件を審査しました。
市内に幼老複合施設を建設することに關する陳情書は、4件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 幼児と高齢者が交流することによるメリットは幼老複合施設でなければ得られないものなのか。
答 現在、幼児が特養に特定の日訪問することによって、お年寄りが元気になるといったメリットは得られているものと判断している。また、保育園などの施設では、現在も高齢者との交流事業を実施しており、交流による幼児の発達への好影響というメリットは、幼老複合施設でなければ得られないものとは考えていない。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城市市税条例の一部を改正する条例は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。
問 わがまち特例の適用となる事業所が市内に参入した場合、財政的な影響は。
答 特例の適用による固定資産税の減収額について地方交付税措置がされることから、特例の影響はない。
討論はなく、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城市市税条例の一部を改正する条例は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

補正予算特別委員会

議案1件を審査しました。
令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第1号)は、9件の質疑があり、概要は次のとおりです。
問 自主防災組織等活性化推進事業委託として実施を計画している事業内容は。
答 自主防災組織の役割や補助の意識を醸成する映像資料を作成する。
問 自主防災組織等活性化推進事業の概要は。
答 市が実施する自主防災組織の活性化に関する事業について、国に提案し採択された場合、国からの委託事業となり、事業終了後に200万円を上限として、事業費が10分の10、市に支払われるもの。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 バス降車場の屋根に関して、市の設計は。
答 今年度より施行する稲城駅南口駅前広場改良工事において、令和7年度での設置を予定している。
問 屋根を作るための予算は、来年度計上されるのか。
答 令和7年度の予算議案として上程していきたい。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

る動議が提出され、採決の結果、起立少数で否決され、陳情について採決した結果、起立少数で不採択と決定されました。

建設環境委員会

議案1件を審査しました。
令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第1号)は、9件の質疑があり、概要は次のとおりです。
問 自主防災組織等活性化推進事業委託として実施を計画している事業内容は。
答 自主防災組織の役割や補助の意識を醸成する映像資料を作成する。
問 自主防災組織等活性化推進事業の概要は。
答 市が実施する自主防災組織の活性化に関する事業について、国に提案し採択された場合、国からの委託事業となり、事業終了後に200万円を上限として、事業費が10分の10、市に支払われるもの。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 バス降車場の屋根に関して、市の設計は。
答 今年度より施行する稲城駅南口駅前広場改良工事において、令和7年度での設置を予定している。
問 屋根を作るための予算は、来年度計上されるのか。
答 令和7年度の予算議案として上程していきたい。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

問 エデュケーション・アシスタントの採用に当たり、どのような課題があったのか。
答 授業の質の向上、児童への個別支援の充実、教員の負担軽減などの課題に対して、エデュケーション・アシスタントを配置する。

建設環境委員会

議案1件を審査しました。
令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第1号)は、9件の質疑があり、概要は次のとおりです。
問 自主防災組織等活性化推進事業委託として実施を計画している事業内容は。
答 自主防災組織の役割や補助の意識を醸成する映像資料を作成する。
問 自主防災組織等活性化推進事業の概要は。
答 市が実施する自主防災組織の活性化に関する事業について、国に提案し採択された場合、国からの委託事業となり、事業終了後に200万円を上限として、事業費が10分の10、市に支払われるもの。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 バス降車場の屋根に関して、市の設計は。
答 今年度より施行する稲城駅南口駅前広場改良工事において、令和7年度での設置を予定している。
問 屋根を作るための予算は、来年度計上されるのか。
答 令和7年度の予算議案として上程していきたい。

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。
稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてくださいは、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。
問 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
答 買入れ金額の妥当性をどのように担保しているのか。
討論の後、趣旨採択を求め

はじめての議会見学

小学生 議会 傍聴



稲城第六小学校の6年生が校外学習として、6月5日に本会議の一般質問を傍聴しました。

見学した一般質問が、坂田副議長による小中学校のプールのあり方についての質問だったため、皆さん興味津々で耳を傾けていました。

一生懸命にメモを取り、議長や市長が座っている場所はもちろん、誰が質問に答えたのか、またどんな質問をしたのかまでしっかりと見て、聞いている姿が印象的でした。

一部事務組合議会の活動

「一部事務組合」とは、複数の地方公共団体が行政サービスの事務の一部を共同で行うことを目的として設置する行政機関で、それぞれの組合には議会が設置されています。稲城市では5つの一部事務組合議会に計12名の議員が選出されています。今回はその中で、2つの組合議会で視察を行ったので、その模様を紹介します。

東京都三市収益事業組合

組合概要 多摩市、稲城市、あきる野市の3市で構成され、ボートレース江戸川(江戸川区)において競艇事業を運営し、その収益を3市で分配しています。
視察日 令和6年7月3日(水)～7月4日(木)
視察地 長崎県大村市(ボートレース大村)・佐賀県唐津市(ボートレースからつ)
視察概要 競艇場の概要や経営状況について、視察してきました。



多摩川衛生組合

組合概要 稲城市、狛江市、府中市、国立市の4市で構成され、4市から出たごみを収集し、クリーンセンター多摩川(稲城市)で処理する「ごみ処理業務」と、狛江市と稲城市で行われている「し尿処理業務」を担っています。
視察日 令和6年7月12日(金)
視察地 東京二十三区清掃一部事務組合 杉並清掃工場
視察概要 都内で最新の清掃工場や東京のごみ問題の歴史について視察してきました。



令和5年度

政務活動費の収支をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に資するため会派に対して交付されます。交付額は「所属議員1人当たり月額25,000円」です。令和5年度は、4月30日に任期満了を迎え、4月に市議会議員選挙が行われたことにより、5月1日時点で会派結成がされていないため、5月分の交付はありませんでした。

令和5年度 政務活動費収支報告(令和5年4月分)

(単位:円)

項目	交付額	支出の内訳									支出合計	返還金	
		研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	通信費	事務費	その他			
会派・議員数													
新政会	7人	175,000	0	0	0	1,900	89,782	0	24,844	51,199	0	167,725	7,275
公明党	3人	75,000	0	0	0	0	0	0	3,000	0	0	3,000	72,000
日本共産党	3人	75,000	0	0	0	0	0	0	10,500	0	0	10,500	64,500
市民クラブ	3人	75,000	0	0	0	0	53,425	0	10,500	0	0	63,925	11,075
起風会	2人	50,000	0	0	0	27,206	0	0	7,000	5,560	0	39,766	10,234
改革稲城の会	2人	50,000	0	0	0	0	0	0	7,000	0	0	7,000	43,000
稲城の力	1人	25,000	0	0	0	0	0	0	3,500	0	0	3,500	21,500
合計(=議員数)	21人	525,000	0	0	0	29,106	143,207	0	66,344	56,759	0	295,416	229,584

令和5年度 政務活動費収支報告(令和5年6月～令和6年3月分)

(単位:円)

項目	交付額	支出の内訳									支出合計	返還金	
		研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	通信費	事務費	その他			
会派・議員数													
稲志会	6人	1,500,000	0	826,822	0	3,713	182,277	0	210,000	278,440	0	1,501,252	0
新政会	4人	1,000,000	0	634,253	0	17,760	276,135	0	40,000	54,884	0	1,023,032	0
公明党	3人	750,000	3,866	178,084	0	38,500	61,980	0	30,000	302,606	0	615,036	134,964
日本共産党	3人	750,000	0	0	0	0	679,690	0	105,000	0	0	784,690	0
改革未来の会	3人	750,000	0	0	0	7,600	519,169	0	105,000	87,515	0	719,284	30,716
稲城・生活者ネットワーク	1人	250,000	0	0	0	0	215,449	0	35,000	11,754	0	262,203	0
稲城立憲民主党	1人	250,000	0	0	0	67,507	0	0	35,000	25,637	0	128,144	121,856
稲城のまちづくり	1人	250,000	0	0	0	20,735	59,400	0	35,000	134,875	0	250,010	0
合計(=議員数)	22人	5,500,000	3,866	1,639,159	0	155,815	1,994,100	0	595,000	895,711	0	5,283,651	287,536

一般質問

本定例会の6月5日から4日間にわたり、19人の議員が市政について64項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。なお、その他の質問項目については、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

市内小学校・中学校のプール授業及び施設の在り方について



川村 議員

問 今、学校プールは全国的に課題が多いと言われている。施設の老朽化が進み、改修費用は億単位であること、維持管理にも多くの費用がかかること、また、近年の酷暑や豪雨で授業ができない日も増加していること、さらに、その維持管理は先生方が時間外勤務で行うこともあること。そこで、市内中学校のプール授業の内容について、年間、何日間プール授業があるのか、また、天候などにより水泳指導が予定どおり実施できない場合の状況については。

答 小学校は、1クラス当たり概ね5日間程度、中学校は、1クラス当たり概ね10日間程度で計画している。天候などにより水泳指導が予定どおり実施できない場合は、実施可能な日程の中で指導内容を重点化して指導している。

問 全国的にも、小中学校のプールの民間委託は広まっている。プールの老朽化、気候変動、教職員の負担軽減、子供たちの安全、技術面の向上など、理由があつて変化していると思う。市でも民営委託や市営プールとの共同利用などについて考えてほしい。プールの共用について、1校1プールの見直しについては。

答 プールの集約化については、課題があるため、現時点では、適切な維持管理に努め、既存の学校プールを可能な限り使用していきたいと考えている。

ガバメントクラウドファンディングの活用について



鈴木 議員

問 ガバメントクラウドファンディング(以下、GCF)は、返礼品が重視される従来のふるさと納税と違い、プロジェクトの内容自体が重視される。従来型のふるさと納税の市の状況と課題認識は。

答 市からのふるさと納税の流出額が約5億円であるのに対し、市への寄附額は約3千万円と大幅な流出超過となっており、令和5年度の市の損失額は約1億7千万円を見込んでいる。また、制度改正で、返礼品に係る地域の基準が厳しくなり、市への寄附額から人件費を捻出する必要があるため、寄附額増に向けた新たな取り組みを行うことも困難である。

問 GCFという考え方をどう捉えているか。

答 特定の事業を実施するために、資金の使途、目標金額、募集期間を明確にした上でプロジェクト化し、共感を得て寄附を募る仕組みのため、新たな財源確保の手段と認識している。

問 この仕組みを今後活用することで、地域課題解決、伝統文化や催事などに特化した活用が期待される。ぜひとも取り組むべきと思うが。

答 地域課題解決のために必要な資金の確保が可能となる、地域活性化が図られるなどのメリットがある。資金を募るための適切なプロジェクトの提示や返礼などの制度設計を行う必要があることから、他市の事例などを研究し、導入に向け取り組む。

稲城市での学校給食費ゼロの早急な実現に向けて



山岸 議員

問 現在、多摩地域で小中学校の給食費が無償化・一部無償化となっている自治体は。

答 自治体独自制度として、従前から全額補助している自治体は、奥多摩町、檜原村。令和6年度に無償化している自治体は、立川市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、福生市、狛江市、武蔵村山市、多摩市、西東京市および瑞穂町。一部無償化として、第2子以降は無償化にしている自治体は町田市、第3子以降は無償化にしている自治体は小平市。

問 現在未実施だが、年度途中から無償化の実施を明らかにしている自治体は。

答 小平市が一部無償化から無償化へ、八王子市、国分寺市が2学期から無償化を実施すると聞いている。

問 市でも早急に無償化を実施すべきと考えるが市長の考えは。

答 学校給食法に基づき、食料費は原則、児童・生徒の保護者が負担することが基本である。ただし、居住する自治体によって保護者の負担に著しい格差が生じることがあつてはならないので、国や都にこれまでも財源の補助について要請してきた。子育てや教育における保護者の費用負担については、学校給食費だけでなく、自治体を取り組む子育て・教育施策全体の中で考えていかなければいけないと認識しており、引き続き国や都には要請しながら、この問題については検討していく。

軟骨伝導イヤホン導入について



佐藤 議員

問 全国の自治体で、耳の遠い高齢者への配慮や様々な取り組みが行われている中、軟骨伝導イヤホンという聞こえを支援する新たな機器がある。軟骨伝導イヤホンは、耳の穴の周囲にある軟骨を振動させて音を伝える仕組みで、音漏れが少なく、音声はつきりと聞こえ、大きな声で話す必要がないため、周囲に個人情報や相談内容を聞かれる心配がないなど、数多くのメリットがある。また、通常の気導イヤホンのように耳を塞がないため、周囲の音も聞こえ、筆談の必要がなくなることから、窓口の混雑緩和も期待できる。

問 市役所窓口における耳の遠い高齢者とのコミュニケーションを円滑にするための今後の市の取り組みでの課題は。

答 窓口での内容により、個人情報など、周りに聞かれたくない事柄が含まれる場合もあるため、配慮が必要になることがある。

問 市役所窓口で軟骨伝導イヤホンを導入することについて見解は。

答 先行して導入した自治体の事例や効果について研究していく。

問 軟骨伝導イヤホンには多くのメリットがあるが、試行的に設置し、実際に効果を体験することも一つの方法かと思うが、市の考えは。

答 市民からの要望や、先行して導入した自治体の事例や効果を研究していく。

聴覚障害者等の命を救う緊急電話について



武田 議員

問 一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供している電話リレーサービスの緊急電話の利用方法は。

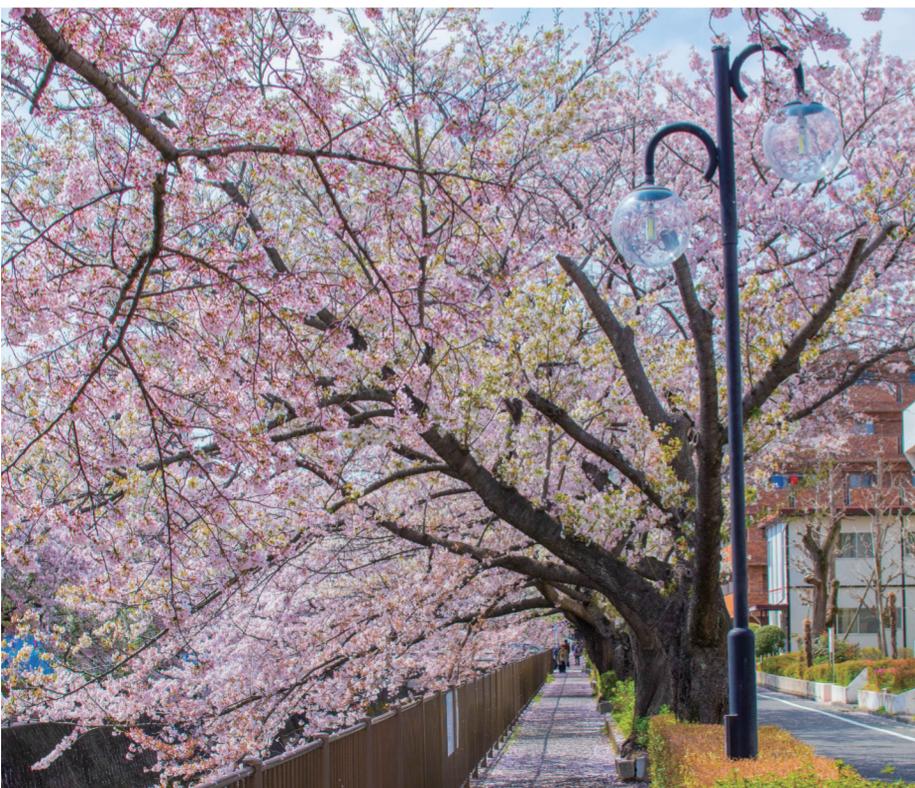
答 利用登録後に、専用アプリから緊急通報ボタンをタップして、画面の案内に従い緊急通報先などを選択し、位置情報取得の確認画面で許可を押すことで通訳オペレーターに接続するので、手話または文字で通話をする。

問 電話リレーサービスはNet119緊急通報システムと何が違うのか。

答 Net119緊急通報システムは119番通報に特化しているが、電話リレーサービスは消防・救急の119番のほか110番の警察、118番の海上保安庁へも通報できる。

問 Net119緊急通報システムは、登録した自治体を離れても利用できるのか。

答 当消防本部での登録者が外出先の市外で緊急通報した場合、当消防本部と同一のNet119事業者を導入している管轄の消防本部であれば、当該管轄の消防本部につながる。Net119を導入していない場合や、導入されているがNet119事業者が異なる場合は、稲城市消防本部につながる。受信内容を外先へ管轄消防本部へ転送するため、市外で通報した場合でも利用することができる。



▲三沢川に咲き誇る桜

市民生活の向上めざし

誰一人取り残されない学びの 多様化について



いそむら 議員

問 不登校の保護者グループや会などができるような取り組みを行っているのか。

答 不登校児童・生徒の保護者同士の情報交換などの場を設定することは考えていないが、保護者からの相談は、本市の教育センターなどで個別に対応する。

問 長野県教育委員会では、教育関係者や居場所運営者などが協力してコミュニケーションシートを作成している。配布物の対応など、やり取りしやすいように項目が記載されているものがある。本市の不登校児童・生徒の保護者に見てもらったが、「こういうものが欲しかった」との声があった。本市でも活用を検討してほしいが認識は。

保護者のコミュニケーションは、直接対面して行うことが大切だと考えているが、実情に応じて様々なコミュニケーションのツールを活用することも方法の一つであると認識している。

問 梨の実ルームや校内別室において、子供の主体性を大切にする取り組みは。また、梨の実ルームに通わなくなってしまう理由を把握・分析することも必要と考えるが認識は。

答 梨の実ルームや校内別室での学習内容や過ごし方などは、児童・生徒と職員とが相談、確認し、児童・生徒の心情に寄り添いながら対応している。また、梨の実ルームに通室しなくなった理由を把握することは、大切であると認識している。

若葉台公園 円形広場の原っぱと 桜並木の保全について



梶浦 議員

問 円形広場の原っぱと桜並木の整備の経過と現状は。

答 毎年、原っぱの芝生の刈り込みを年4回、低木の除草を年2回、低木の刈り込みを年1回実施している。また桜並木は枯れ枝や公園利用に支障となる枝の剪定と枯れ落ちた枝の処分を適宜行っている。今後引き続き適切な維持管理を行い、円形広場が豊かな緑空間としての市民レクリエーションやコミュニティ活動の場、憩いの場となるよう努めていく。

問 円形広場の原っぱの芝生の刈り込みを年4回、低木の除草を年2回行っているということであるが、その実施の時期は。

答 若葉台地区夏まつりの開催に合わせて実施するなど、地域の公園利用状況を鑑みて行うように努めている。

問 ソメイヨシノの桜並木の樹木の保全管理は。

問 東京都母子及び父子福祉資金は、市は原則として連帯保証人を求めているが理由は。また、兄弟など、同時に2人以上の申請の場合、別々の保証人が必要となるのか、保証人が立てられない場合はどうするのか。

答 保証人を原則としているのは、制度を設けている都のQ&Aに基づいたものである。同時に2人以上の貸付けを申請する場合、別々の保証人を立てるよう伝えている。難しい場合は、都のQ&Aに基づき、借受人と十分面接を行い、個々の状況に応じた対応をしている。また、社会福祉協議会と連携し、保証人がいなくても借入れ可能な資金などの案内などもしている。

問 離婚前別居家庭への教育費の支援は。また、生活が3か月以上継続している場合あるいはDVなどの状況において貸付けの要件を満たす場合には、東京都母子及び父子福祉資金の貸付けの対象となる。

問 教育資金や奨学金の情報について、プッシュ型の周知や、ワンストップのサイトを設けることの検討は。

答 毎年、進路について検討する時期の7月頃と受験校や手続の準備をする11月頃に広報いなきで周知している。資金を比較検討できるものとして、パンフレットの作成や各資金の問い合わせ先のURLを掲載するなど、分かりやすいホームページとなるよう既に検討している。

ひとり親家庭・離婚前別居家庭・ 低所得家庭への教育費の支援について



村上 議員

問 三沢川側道において、桜の成長が著しい百村の神王橋から矢野口の新田橋までの間に植樹されている桜の品種と本数について。

答 ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヤマザクラ、サトザクラの4種が約280本植樹されている。

問 木々の今後の維持管理の進め方については。

答 歩行者などの安全を確保するために、倒木の恐れがある木の伐採や太枝の剪定を行うとともに、三沢川側道の桜を適切に維持管理していくための対応などについて検討していきたいと考えている。

問 三沢川の桜は、市民はもとより、この桜並木を見るために市へ訪れる方もたくさんおり、非常に見応えのある重要な観光資源だと考える。歩行者などが安全に通行できるように、必要に応じて伐採なども行うとともに、ぜひとも観光資源としての維持も念頭に置いて、適切に管理してほしいが、今年度はどのようなことを進めていくのか。

答 令和2年度に実施した三沢川の桜の樹木育成状況調査に基づき、現状を確認しながら、歩行者の通行の安全を考慮した伐採など必要に応じて進めるとともに、観光資源としての桜の維持といった視点も勘案し、伐採などで減ってしまった桜を補完するための計画の策定に向け、取り組んでいく。



▲若葉台公園の円形広場

補聴器購入費助成事業について



田島 議員

問 都の高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業と従来の高齢社会対策区市町村包括補助事業との違いは。

答 高齢社会対策区市町村包括補助事業は、区市町村が実施する高齢者への補聴器支給などの事業が、事業実施要綱に定める選択事業の1つ。その他別に定める事業に該当する場合に補助するもので、高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業は、加齢性難聴に係る補聴器助成のみならず、早期発見・早期対応に係る普及啓発などの経費が包括的に補助対象とされている。

問 普及啓発という言葉からも分かるように、都内の区市町村では補聴器支援事業が広がってきたこと、それを前提にしたか

答 高齢社会対策区市町村包括補助事業の選択事業のうち、その他別に定める事業において、対象にはなかつた早期発見・早期対応に係る普及啓発等経費が包括的に対象として新たに加えられ、個別に補助事業化されたものと認識している。

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【ガバメントクラウドファンディング】…自治体が問題解決のため、ふるさと納税制度を活用し、具体的なプロジェクトに対し、共感した方々から寄附を募る制度。

【電話リレーサービス】…聴覚や発話に困難のある人と、きこえる人との会話を通訳オペレーターが手話または文

字と音声を通訳することにより電話で即時双方向につながるができるサービス。

【インクルーシブパーク】…障害の有無や年齢、性別、国籍などを問わずにすべての人が楽しく遊べることを目的とする公園。

【スクールソーシャルワーカー】…福祉の専門性を持ち、

問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関などとの連携・調整を行ったりする人のこと。

【梨の実ルーム】…市内公立小中学校に在籍していて、さまざまな要因で、不登校や不登校傾向にある児童・生徒を対象に学習支援や小集団での活動、相談活動などを行い、学校への復帰に向けた取り組みを行っている場所。

稲城市内の地域公共交通、路線バスの維持・拡充について



岡田 議員

問 市民の暮らし、通勤・通学に欠かせない地域公共交通としての路線バスの重要性についての認識は。

答 市民が鉄道駅や医療・福祉施設、商業施設などに容易にアクセスするために必要な公共交通網の一つだと認識している。

問 市民の暮らしを支える地域公共交通として、市内路線バスを3月以前の便数に戻すことおよび路線バスの維持・拡充を京王バス、小田急バスに求めるべきと考えるが、認識は。

答 路線バス事業者においては、全国的な課題である深刻な運転手不足に伴う要員確保や処遇改善に向け、運賃改定やその他の運転手確保策などの様々な対策を講じていると伺っている。なお、市においては、市民の意見を踏まえ、稲城市地域公共交通会議などにおいて問題提起をしている。

問 路線バスの維持・拡充のため、国・都に支援・補助を求めるべきと考えるが、認識は。

答 国・都に対し、これまでも既に財政支援などを求めてきたが、今回のダイヤ改正に伴う減便については、改善基準告示などを踏まえた運転手などの働き方改革による拘束時間の上限や休憩時間の見直しなどに伴い、現在の運転手の人数ではその配置が十分にできなくなったことなどが要因であり、国や都からの補助金などの財政支援により解消するものではないものと認識している。



▲吉方公園のリニューアルイメージ図

矢野口のまちづくりについて



角田 議員

問 多7・5・3号宿榎戸線、および川崎街道から旧鶴川街道区間の整備状況と今後の予定は。

答 多7・5・3号宿榎戸線は現在、電線共同溝へのケーブル入線工事などを行っている。令和7年度は、電線共同溝からの電力供給に切り替え、歩道の舗装工事を行い、年度末に整備を完了させる予定である。川崎街道から旧鶴川街道区間は、用地取得率が約93%で、一部区間で上下水道及び電線共同溝等地下埋設工事が完了している。今年度は、残りの用地取得に向け権利者との交渉を進め、川崎街道以南の約30メートル区間で道路築造工事に着手し、令和8年中の道路交通開放を目指し取り組んでいく。

問 吉方公園の整備状況と今後の予定は。

答 令和5年度にインクルーシブパークの整備に向け、基本設計を実施した。令和6年度も引き続きワークショップの開催や利用者アンケートによる利用者の意見が反映された遊具選定など、公園詳細設計を行い、令和8年度の工事完了を目指していく。

問 (仮称)矢野口公園の整備計画については。

答 矢野口自治会館と隣接する用地の一体利用を実現させるため、公園予定地の一部との交換を行う方針である。今後は、地域住民の意見を伺いながら、早期に整備着手できるように、関係機関と調整を図っていく。

(仮称)矢野口公園の運用について



土居 議員

問 (仮称)矢野口公園の整備計画は。

答 (仮称)矢野口公園の整備計画については、かねてから地域住民から要望が多かった、矢野口自治会館と隣接する用地の一体利用を実現させる方策として、公園予定地の一部用地と自治会館に隣接する用地との交換を行う方針であり、榎戸土地区画整理事業区域内都市計画施設等検討会、通称「梨の道検討会」をはじめとする地域住民の意見を伺いながら、整備内容を検討し、早期に整備に着手できるように関係機関と調整を図っていく。

問 (仮称)矢野口公園の暫定利用は。

答 暫定利用については、整備完了までに時間を要することから、地域住民からは早期利用の要望をいただいている。このことを踏まえ、公園予定地の一部を暫定整備し、開放することについて検討していく。

稲城市のGIGAスクール構想について



中島 議員

問 授業での基本的なタブレットの活用事例は。

答 学習内容に関する検索、各コンテンツの視聴、学習の記録、作品づくり、調べ学習などの発表、Googleクラウドベースによる学習などがある。

問 「個別最適な学び」に役立てるために、子供たちの学習の習熟度を把握して、児童・生徒一人一人に合った内容とペースで学べる環境を実現するための機能を搭載したソフトなどがあるが、Googleクラウドベースによる学習ではどのような活用ができるのか、どのような機能を使ってどのような学習を行っているのか。

答 Googleクラウドベースによる学習については、例えば授業での基本的なタブレットの活用事例は、Google Classroomを活用して児童・生徒の学習状況を集約したり、児童・生徒の成果物のデータをクラウド上で共有したりすることで、教員が児童・生徒の学習状況を把握し、進捗状況に応じた指導・支援を行っている事例がある。

問 データ蓄積可能なアプリ導入が個別最適化につながるのではないかと考える。市の考えは。

答 学習履歴などのデータが蓄積可能な学習支援・授業支援の有償アプリケーションなどの導入については、現時点では市の予算で購入する予定はないが、引き続き、導入に係る費用対効果を含め、アプリケーション導入による教育的効果などについて研究していく。

民間バスの減便について



岩佐 議員

問 市内の民間路線バスにおいても3月16日より大幅な減便が行われた。市には市民からどのような意見や要望が届いているのか。

答 市にいただいた意見は、「私が利用していた朝の5時・6時台に運行する便がなくなり、利用できなくなった」、「夕方の運行便数の減少により、電車から路線バスへの乗り継ぎに時間がかかるようになった」などである。

問 増便などの市民からの要望は路線バス事業者に伝えていくとのことだが、例えばバスの役割は路線バスの補完であるので、減便で困っている方の多い民間バス路線をバスで補完するなど、市としてもできる限りの対策をお願いする。また、民

問バスにおいても、できる限り早く増便を要望すると同時に、今回の減便の原因は運転手の慢性的な不足によるもののため、まずは早急な人材確保をしていただきたい。路線バス事業者が運転手確保などにあたり、具体的にどのような対策を講じているのか。

答 路線バス事業者からは、運転手確保にあたり、運賃の値上げなどによって運転手の処遇改善を行い、募集の広告をホームページや新聞折り込みなどで広く周知を図るとともに、採用時に大型自動車第二種運転免許を持つていない方に免許取得の支援制度を設けるなど、採用の枠を広げて運転手確保に努めていると伺っている。

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。
一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

不登校児童・生徒への支援について



坂田 議員

問 校内別室指導支援員(以下、支援員)の役割と選定基準、採用方法、採用に当たり、適性のある人材の判断については。

答 支援員は、生徒一人一人の状況に応じた支援を行う役割があり、教員免許など、必要な資格は特にないが、官報情報検索ツール、教育職員免許状の失効・取上げ情報を確認することも、担当課または学校において面接を行い、慎重に判断し採用している。適性のある人材の任用に当たっては、教員や学校勤務の経験があり、実際に不登校などに関する相談業務に従事していたなど、経験を考慮し採用している事例がある。

問 児童・生徒からの相談や他の教育機関との連携については。

答 都教育委員会の実施要綱に基づき、校内別室を生徒が安心して、自己存在感などを感じられる場所にするともに、少人数での関わりをきっかけに、教員や友達とのコミュニケーションを活性化させたりする機会を充実させることが大切だと認識している。

問 生徒からの相談は、まずは支援員が相談に応じるとともに、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの職員が相談内容に応じて対応している。他の教育機関とは、校内別室と梨の実ルームを併用している生徒に関して、生徒の様子について情報共有している。

問 校内別室指導支援員制度の今後の充実については。

答 都教育委員会の実施要綱に基づき、校内別室を生徒が安心して、自己存在感などを感じられる場所にするともに、少人数での関わりをきっかけに、教員や友達とのコミュニケーションを活性化させたりする機会を充実させることが大切だと認識している。

孤独・孤立を感じている高齢者の対応について



榎本 議員

問 孤独・孤立を感じている高齢者への対応については。

答 地域包括支援センターや市の窓口、民生・児童委員や地域包括支援センター職員の訪問の際に相談があった場合、本人の意向を尊重し、ふれあい電話、ふれあいセンターの紹介や、みどりクラブ、地域の通いの場を案内するなど、高齢者に寄り添った対応を行っている。

問 75歳以上の方が孤独・孤立を感じたまま過ごした場合にはどのようにすると認識しているか。

答 高齢社会白書では、生きがいの低下、消費者被害に遭いやすくなるなどが挙げられている。市ではひとり暮らしの高齢者宅を民生・児童委員が直接訪問しているが、拒否する方もい

問 予防対策として年齢の早い段階で高齢者の将来像としての心構えのような案内も必要と思うが、見解は。

答 令和3年度から自分や家族親のための知識の蓄え、社会参加、健康習慣の獲得を目的に、50UP(フイフイ・アップ)講座を開催している。講座の受講により将来像をイメージし、孤独・孤立を感じないような方策の参考にと考えている。

JR南武線南側の市道における歩行者等の安全対策について



湯谷 議員

問 市内におけるベンチの設置に対する市の考えは。

答 本来、歩道の役割は、歩行者が安全に通行するための施設であり、ベンチなどの設置は歩行者の安全確保が図られない場合は認めないが、福祉の観点から、歩道幅員が確保でき、歩行者の通行の支障にならない箇所にベンチを設置している。

問 買い物物途中や買い物帰りの高齢の方、障害をお持ちの方が、猛暑の中、日が当たる道端で休憩している光景を何度も目にしている。熱中症対策としても、休憩場所を設けることは重要なことであると考えている。設置場所としてJR南武線高架下は日が当たらないため、休憩するには最適である。JR南武線高

問 市内におけるベンチの設置に対する市の考えは。

答 土地所有者であるJR東日本株式会社に対し、設置してもらえようお願ひしている。

不登校支援について



つのだ 議員

問 不登校対応巡回教員については。

答 令和5年度から稲城第四中学校に不登校対応の加配教員を配置している。不登校対応巡回教員を、本年4月から市に1人配置し、既に加配教員が配置されている稲城第四中学校を除いた中学校5校を巡回し、不登校の未然防止や早期支援などの取り組みを行っている。

問 教育センターにおける不登校支援については。

答 梨の実ルームにおいては、個に応じた学習、施設を活用した実技教科や集団活動、校外学習による体験活動など、児童・生徒が学びを確実に進められるよう取り組んでおり、教育相談室においては、相談員が電話や

架下のJRの敷地にベンチを設置することについて市の考えは。

答 高齢化が進み、高齢者の買物の問題が取り上げられている。地域の高齢者からは、「健康のためにも徒歩で買い物に行きたい。しかし、スーパーまで片道20分から30分かかるため、特に真夏は倒れそうになる」との声がある。ぜひベンチの設置を進めてほしい。ベンチの設置について、JR東日本株式会社へお願ひするスケジュールは。

答 市では、現地を確認し、設置要望箇所を決めた後に、JR東日本株式会社に対し、ベンチ設置のお願ひをしていく。

正副議長公務日誌

友好都市 相馬市訪問 (5月25日～26日)

副議長は、友好都市交流ツアーに参加した稲城市民と共に東日本大震災の慰霊碑への献花を行い、追悼の辞を述べました。また、翌日には、伝統行事「相馬野馬追」を観覧しました。



坂田副議長

第62回三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会 (5月28日)

多摩地域の上水道・下水道・道路の促進協議会の総会に協議会の3つの委員会それぞれに選出されている村上議員(第1委員会)、湯谷議員(第2委員会)、田島議員(第3委員会)と共に出席しました。



第33回稲城市消防団消防操法審査会 (6月16日)

梅雨の晴れ間、2年に一度行われる消防操法審査会で全8分団が一堂に会し、日頃の訓練で培った技術を競い合いました。令和6年度は、第七分団が議長賞を受賞し、表彰されました。



※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

令和6年第2回定例会での審議結果 (令和6年5月31日～6月20日)

議決結果表のヘッダー部分。議員名と所属を列挙する。

審議結果のメインテーブル。各議案の賛否と賛成・反対の人数を示す。

〈稲城市議会議員 条例定数22人 現員22人〉

可決 否決 承認 賛成 反対 議長 欠席

北浜 けんいち 議長/稲志会 防災グッズ、家族や友人の連絡先、銀行口座番号等を書いたメモ、車の鍵などをリュックサックに入れ用意しています。

議員22人に聞きました Q.あなたが行っている災害対策は？

坂田 たけふみ 副議長/新政会 日頃から水や食料品を少し多めに購入して、数日分の備蓄食品として、一定量保管するローリングストックを心がけています。

川村 あや 稲志会 大切な家族であるペットも一緒に守る為に、市内でのペットとの同行避難・同伴避難の受け入れ拡充につとめています。

中田 中 稲志会 自主防災組織、避難所運営関係者会議、消防団など、自分だけでなく地域を守るための組織運営や体制づくりに関すること。

鈴木 誠 稲志会 東日本大震災の前年に防災士を取得。14年以上の消防団(分団長2期)活動、地域防災リーダーの自覚を持って日々研鑽中。

土居 のりひろ 稲志会 食料、日用品の最低3日分の備蓄と、災害発生時にはすぐに動けるように消防団の作業服を寝室に常備しています。

中島 健介 稲志会 現役の消防団員として活動し、昨年は応急手当指導員の資格を取得。自宅では1週間分の飲み水と食料の備蓄をしています。

渡辺 力 新政会 災害は、いつ、どこで遭遇するかわかりません。常にあらゆるアクシデントを乗り越えるという信念を持ち生活しています。

角田 政信 新政会 家具転倒防止や非常用持ち出し袋に飲料水などを常備しています。最悪の事態を想定し命を守る自助の対策を心掛けています。

池田 英司 新政会 東北大震災を経験された友人から水が最も大事だったとの経験談から飲料水や生活用水を多めに備蓄しています。

つのだ 寛美 公明党 枕元に防災グッズを置いてます。食品ロスしないために、ローリングストックをして日常生活で消費しています。

佐藤 しんじ 公明党 家具の固定に窓ガラスの飛散防止、食料・飲料の備蓄。共助で助け合えるよう、ご近所との挨拶など、コミュニケーションの励行。

榎本 久春 改革未来の会 消防団の経験と防災士の資格を活かし、防災組織に協力。自助として、玄関に水・食糧など防災リュックを家族分備えています。

岡田 まなぶ 日本共産党 断水、停電の在宅避難の備えとして、7日分の水、非常食、簡易トイレ、ランタン、電池、スマホ用ソーラー充電器などです。

山岸 太一 日本共産党 いざという時に飼っている猫たちと一緒に避難できるように、ペット用の避難グッズを用意し災害に備えています。

田島 きく子 日本共産党 家具の転倒防止、ヘルメット、懐中電灯、1週間分の携帯トイレなど。今後は、飲用水ペットボトルの備蓄もはじめます。

湯谷 ひろし 公明党 ローリングストックを実践しています。水やカップラーメン等を定期的に購入し、常に家庭に一定量の食品を備蓄しています。

岩佐 ゆきひろ 改革未来の会 わが家は子どもが4人いるので、たまに非常食を食べながら更新しています。特にお水は大量に備えています。

いそむらあきこ 改革未来の会 水や食品、携帯トイレ、懐中電灯などを災害バッグにまとめ、玄関近くに。日用品やガスボンベ、お米は常時多めにストック！

村上 洋子 無所属 飲用水は2ℓ×6本の箱を常に10箱位、米や食料品もローリングストック。また、車に避難するために毛布などを積んでいます。

武田 まさひと 無所属 私のうちでは、簡易トイレを150回分備蓄し、お風呂の水も出来るだけ溜めています。飲み水も常時80ℓを備蓄しています。

梶浦 みさこ 無所属 「稲城市災害時消防支援ボランティア」に登録。発災時、消防本部に協力し活動できるよう、訓練に参加し、災害に備えています。